

2016年度 後期		リフレクションペーパー					
学科名	建築・デザイン学科						
科目名	造形材料演習						
科目区分	専門科目	単位数	4	開講時期	2年後期		
必修・選択の別	デザインコース:必修科目 建築工学コース・建築コース:選択科目						
担当者	松本誠一						
授業の到達目標 (シラバスから)	・木材の性質を理解できる。・プラスチックの性質を理解できる。・造形材料の加工技術を理解できる。・造形材料を加工して製作することができる。						
日程と内容	第1回 9/14 導入講義 授業の概要と進め方 成績評価の方法 第2回 9/21 木材の性質1 企画・図面製作 第3回 9/28 木材の性質2 木材の加工1 木材の加工1 板取り 切断 第4回 10/12 木材の加工2 切断 組み立て 接着 第5回 10/19 木材の加工3 接着 仕上げ(塗装) 第6回 11/2 プラスチック(アクリル)の性質 企画・図面作成 第7回 11/9 プラスチック(アクリル)の加工1 板取り 切断 第8回 11/2/9 5限(補講) プラスチック(アクリル)の加工2 面取り 接着 第9回 11/16 プラスチック(アクリル)の加工3 接着 研磨 第10回 11/30 オリジナル作品の制作1 企画立案 図面作成 第11回 12/7 オリジナル作品の制作2 図面作成 第12回 12/14 オリジナル作品の制作3 板取り 部品作成 第13回 1/11 オリジナル作品の制作4 部品作成 組み立て 第14回 1/11/18/5限(補講) オリジナル作品の制作5 組み立て 仕上げ(研磨) 第15回 1/18 ポートフォリオ作成 講評						
成績評価基準	定期試験	・	実技	・			
	臨時試験	・	部外評価	・			
	報告書・レポート	・	プレゼンテーション	20%			
	課題 演習	80%	計	100%			
授業到達目標の達成度	造形材料の中のポリエステル溶剤の成形を実施することができなかった。ポリエステル溶剤の硬化が十分に行えなかったからである。ポリエステル溶剤も硬化剤もともに2年前に購入したものである。経年変化で劣化したとは考えられない。溶剤と硬化剤の相性が悪かったのかも知れない。原因を究明中。この問題があり、授業の到達目標に若干到達できなかった。						
反省点	上記の件について反省している。準備不足であったと痛感している。						
来年度の計画	開講予定なし						
授業評価アンケートに対するコメント	記録すべきコメントはなし。設問14の評価は9.0.						
履修登録者数	10名	定期試験 受験者数	9名	合格者数	9名	合格率	100%